



Grass Valley

Chorus Hub 11

CONNECT ANYTHING

セットアップガイド

2025 年 5 月

Copy and Trademark Notice

Grass Valley®, GV® and the Grass Valley logo and / or any of the Grass Valley products listed in this document are trademarks or registered trademarks of GVBB Holdings SARL, Grass Valley USA, LLC, or one of its affiliates or subsidiaries. All third party intellectual property rights (including logos or icons) remain the property of their respective owners

Copyright ©2023-2025 GVBB Holdings SARL and Grass Valley USA, LLC. All rights reserved.
Specifications are subject to change without notice.

Other product names or related brand names are trademarks or registered trademarks of their respective companies.

Terms and Conditions

Please read the following terms and conditions carefully. By using EDIUS documentation, you agree to the following terms and conditions.

Grass Valley hereby grants permission and license to owners of to use their product manuals for their own internal business use. Manuals for Grass Valley products may not be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording, for any purpose unless specifically authorized in writing by Grass Valley.

A Grass Valley manual may have been revised to reflect changes made to the product during its manufacturing life. Thus, different versions of a manual may exist for any given product. Care should be taken to ensure that one obtains the proper manual version for a specific product serial number. Information in this document is subject to change without notice and does not represent a commitment on the part of Grass Valley.

Warranty information is available from the Legal Terms and Conditions section of Grass Valley's website (www.grassvalley.com).

TABLE OF CONTENTS

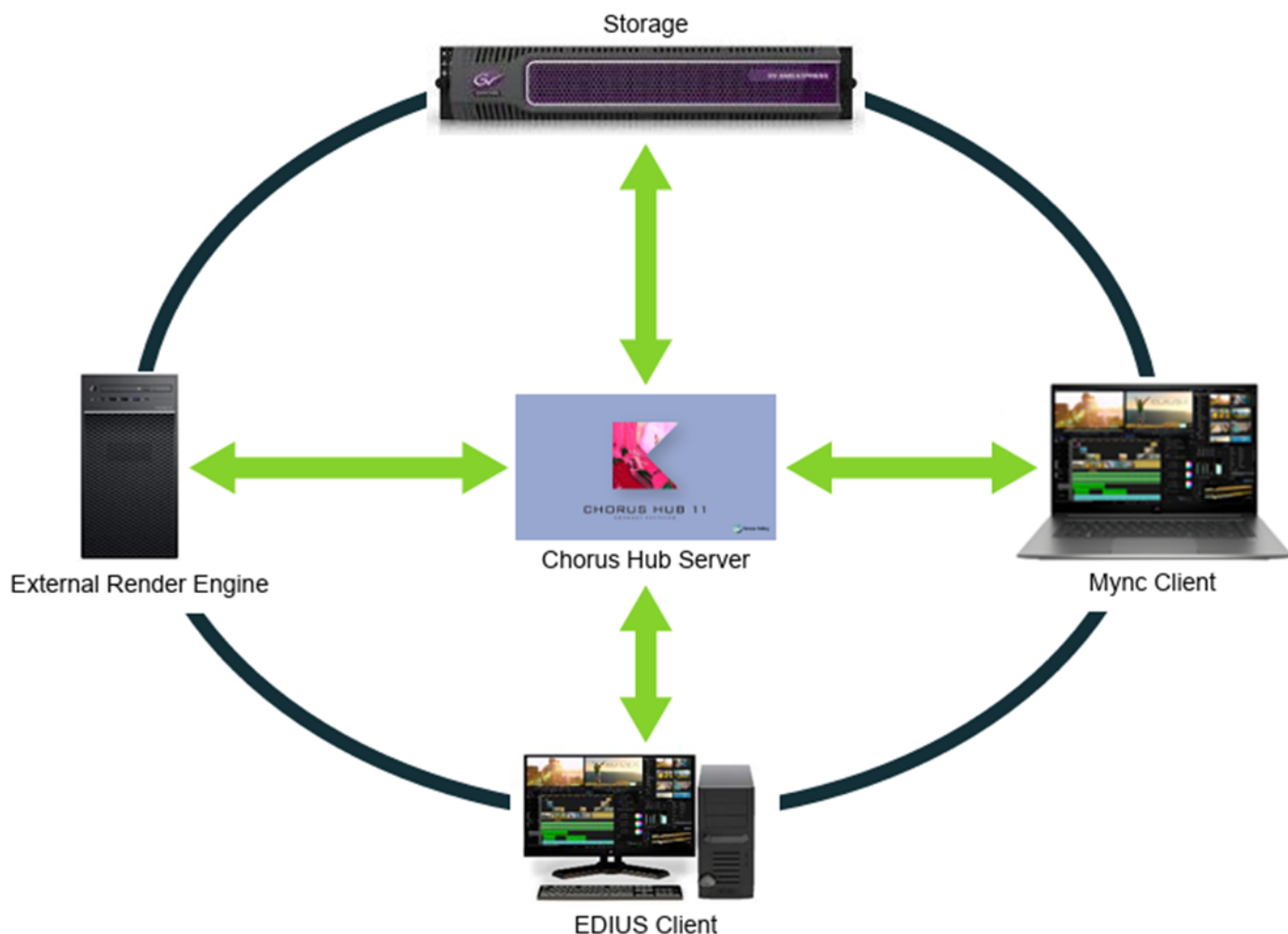
Copy and Trademark Notice	1
Terms and Conditions	1
はじめに	4
概要	4
Chorus Hub でできること	4
本書で説明するセットアップ内容について	5
動作環境	6
システム設計・運用上の注意事項	6
ネットワーク要件	6
その他の要件	6
サーバーコンピューターのハードウェア要件	7
外部レンダーエンジンのハードウェア要件	7
サーバーコンピューターのセットアップ	8
STEP 1: サーバーソフトウェアをインストールする	8
STEP 2: ライセンスを認証する	9
STEP 3: フローティングライセンスを使用するための設定	12
共有テンポラリープロジェクトフォルダーの登録	13
Admin Console による登録	13
CLI による登録	14
EDIUS クライアントのセットアップ	16
STEP 1: EDIUS をインストールする	16
STEP 2: フローティングライセンスを使用するための設定	16
外部レンダーエンジンのセットアップ	17
STEP 1: ソフトウェアをインストールする	17
STEP 2: フローティングライセンスを使用するための設定	18
STEP 3: Windows の自動ログオンをオンにする	18
動作確認	19
確認する内容	19
サーバーコンソールの起動方法	19
ライセンスが使用可能かを確認する	20
ライセンスのチェックアウト・チェックインを確認する	20
外部レンダリングができるかを確認する	21
ライセンスの管理	22
管理者パスワードを変更する	22

サービスの稼働状況を確認する	22
ライセンスサーバーモジュールを再起動する	23
ライセンスを認証解除する	25
準備	25
ライセンスを認証解除する	25
トラブルシューティング	27
ライセンス残数が不足して EDIUS が起動しない	27
ライセンスの認証/認証解除中にエラーが発生する	27
編集作業中に一部の機能が使用できなくなる	27
管理者パスワードを忘れた	28

はじめに

概要

Chorus Hub サーバーを中心に、複数の EDIUS/Mync クライアントをつなげて実現するグループクリエイティブソリューション。各クライアントで行われた素材設定や映像編集データなどをグループ全員と共有し、効率的な作業を行うことができます。全体の構成としては、データベースを集中管理する「Chorus Hub サーバー」、ソリューション全体のライセンスを管理する「フローティングライセンスサーバー」、そして、複数の EDIUS/Mync クライアントで構成されます。また、エンコードやレンダリングなどを行う外部レンダーエンジンを追加することも可能です。



Chorus Hub でできること

コンテンツシェアリング

Chorus Hub を通じて、Mync で設定したさまざまな素材設定情報（In 点/Out 点やマーカ、アセットの表示色など）、および Mync で管理している EDIUS 11 のプロジェクトやシーケンスを各クライアントと共有できます。また、EDIUS で編集を行う際、新設された Mync ウィンドウによって、これらの共有された情報をダイレクトかつシームレスに活用できます。

外部レンダリング

外部レンダーエンジンを接続すると、EDIUS タイムラインのファイルへの出力や、Mync でのアセットのファイル変換を外部で行えるようになり、EDIUS/Mync 各クライアントの負担を大幅に低減できます。

本書で説明するセットアップ内容について

使用する環境やワークフローによって必要なセットアップ手順は異なります。本書では以下のセットアップを行う手順について説明しています。

1. Chorus Hub サーバーとフローティングライセンスサーバーは同じコンピューターにインストールします。このコンピューターは「サーバーコンピューター」と記します。
2. 外部レンダーエンジンは、サーバーコンピューターとは別のコンピューターにインストールします。

動作環境

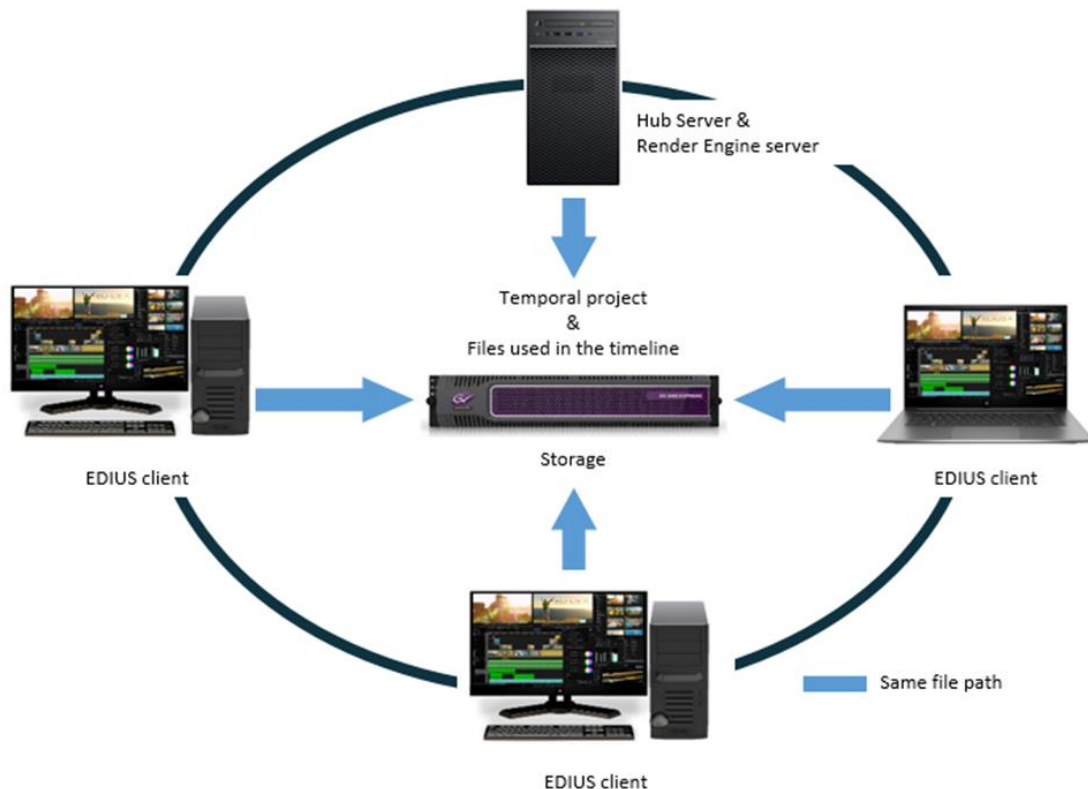
システム設計・運用上の注意事項

- 必要な Chorus Hub サーバー、ストレージ、ならびにネットワーク帯域のパフォーマンスは、同時稼働する EDIUS/Mync クライアントの台数や、タイムラインで使用しているファイルのフォーマットによって異なります。本稼働の内容に基づく適切なプロビジョニングを行ってください。
- サーバー性能および負荷の状態によっては、コンテンツ共有のための同期に時間がかかる場合があります。

ネットワーク要件

システムの構築にあたっては、すべてのコンピューター(EDIUS/Mync クライアント、サーバーコンピューター、外部レンダーエンジン)において、以下のネットワーク要件を満たしてください。

1. 同じサブネット上に設置してください。
2. すべてのコンピューター（EDIUS/Mync クライアント、サーバーコンピューター、外部レンダーエンジン）で、タイムラインで使用、もしくはアセット変換の対象となるファイル、テンポラリプロジェクトの両方のファイルに、同じファイルパスでアクセスできる必要があります。



その他の要件

1. 1つのシステムにつき、1台の Hub サーバーを導入する必要があります(複数台の Hub サーバーを導入することはできません)。
2. サーバーコンピューターはインターネットへ接続できる必要があります。フローティングライセンスサーバーを別のコンピューターで稼働させる場合は、そのコンピューターがインターネットへ接続できる必要があります。
3. 外部レンダーエンジンで GPUfx エフェクトを適用したタイムラインをファイルへエクスポートする場合は、外部レンダリングクライアントで Windows の自動ログオンをオンにしておく必要があります。

サーバーコンピューターのハードウェア要件

CPU	AVX2をサポートする第5世代以降の Intel CPU *EDIUS クライアント 20 台が同時稼働して編集する場合、論理コア 8, 2.5GHz 以上のベースクロックを持つプロセッサが必要
メモリ	32GB 以上
ストレージ	500GB 以上の SSD
ネットワーク	1GbE 以上
グラフィックス	2GB 以上のビデオメモリ
インターネット接続	アップデート、ライセンス認証用にサーバーコンピューターとは別の Windows PC が必要
OS	Windows Server 2022, 2019 *上記以外の OS では動作しません。 ** Windows Server 2022 で使用する場合は、11.21.17345 以降をインストールしてください。 *** Chorus Hub サーバーと EDIUS/Mync クライアントのビルドは同じものを使用してください。

外部レンダーエンジンのハードウェア要件

CPU	AVX2をサポートする第5世代以降の Intel CPU または 同等の AMD CPU
メモリ	16GB 以上
ストレージ	6GB 以上の空き容量を持つ内蔵ストレージが必要
グラフィックス	以下の条件を満たすグラフィックスシステムが必要。 – 1024 × 768 32bit color 以上の表示ができ、Direct3D 機能レベル 11_1 以降、および Pixel Shader Model 3.0 以降に対応したもの。 – ビデオサイズに応じて以下のビデオメモリが必要。 SD / HD(8bit/10bit): 1GB (2GB 以上を推奨) 4K / 8K (8bit/10bit): 2GB (2GB 以上を推奨)
OS	Windows 10 (version 22H2) 64bit Windows 11 64bit *上記以外の OS では動作しません。

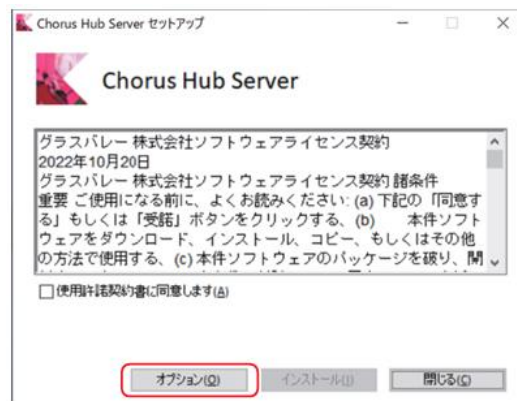
サーバーコンピューターのセットアップ

STEP 1: サーバソフトウェアをインストールする

サーバーとして使用したいコンピューターに、Chorus Hub, フローティングライセンスサーバーをインストールします。

- NOTE**
1. Chorus Hub サーバー、EDIUS のビルド番号は同じものを使用してください。インストーラーは以下のリンクよりダウンロードできます。
 - [Chorus Hub サーバーインストーラー](#)
 - [EDIUS 11 インストーラー](#)
 2. Chorus Hub を実行させる際に使用する OS アカウント (管理者権限を持つもの) でサインインしてください。
 3. サーバソフトウェアのインストーラーを実行するとフローティングライセンスサーバーも同時にインストールされます。

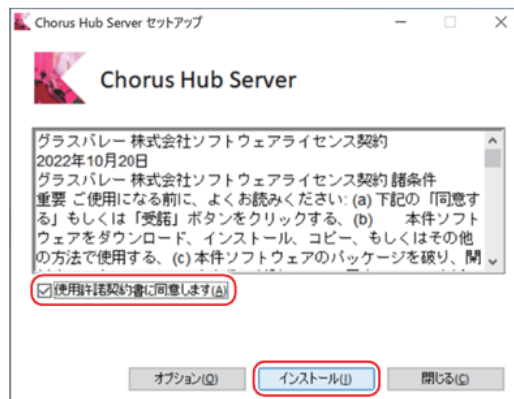
1. ChorusHubServer_Setup-11.xx.xxxx.exe を実行する
2. [オプション] をクリックする



3. 「Hub Server のみ」を選択し、[OK] をクリックする



4. [使用許諾契約書に同意します] にチェックを入れ、[インストール] をクリックする



NOTE

- ウィンドウをスクロールして、必ずすべての条件に目を通してください。
- [閉じる] をクリックすると、インストールが中止されます。使用許諾契約に同意できない場合は、インストールを中止し、文書で当社カスタマーサポートにご連絡ください。

5. [次へ] をクリックする

6. [再起動] をクリックする



STEP 2: ライセンスを認証する

ライセンスの種類

サーバーコンピュータで必要なライセンスを認証します。使用する EDIUS のエディションにより必要なライセンスが異なります。またワークフローに応じてオプションのフローティングライセンスの認証も必要です。

NOTE 本書に記す「ライセンス」とは特段の表記がない限り、フローティングライセンスを指します。

認証必須のライセンス

EDIUS 11 Broadcast

ライセンス名	ライセンスの内容
Chorus Hub Server 11 FL	Chorus Hub サーバーライセンス
Chorus Hub 11 Render Option Broadcast FL	外部レンダーエンジンライセンス
Chorus Hub 11 Sync Option FL	Chorus Hub サーバーと EDIUS クライアントの同期処理を行うためのライセンス
EDIUS 11 Broadcast FL	EDIUS 11 Broadcast クライアントライセンス

EDIUS 11 Workgroup

ライセンス名	ライセンスの内容
Chorus Hub Server 11 FL	Chorus Hub サーバーライセンス
Chorus Hub 11 Render Option Workgroup FL	外部レンダーエンジンライセンス
Chorus Hub 11 Sync Option FL	Chorus Hub サーバーと EDIUS クライアントの同期処理を行うためのライセンス
EDIUS 11 Workgroup FL	EDIUS 11 Workgroup クライアントライセンス

オプションライセンス

以下のライセンスは EDIUS 11 Broadcast / Workgroup 共通のオプションライセンスです。ワークフローに応じてサーバーコンピュータで認証します。

ライセンス名	ライセンスの内容
EDIUS 11 Authoring Option FL	EDIUS クライアントで Disc Burner を使用するためのライセンス
EDIUS 11 K2 Option FL	EDIUS 11 と K2 SAN を接続するためのライセンス
EDIUS 11 S3 Direct Access Option FL	EDIUS 11 から Amazon S3 ストレージへ直接アクセスするためのライセンス

オフライン認証用メディアを用意する

サーバーコンピュータの USB ポートに USB メモリを挿し、エクスプローラーで以下のフォルダーを作成します。

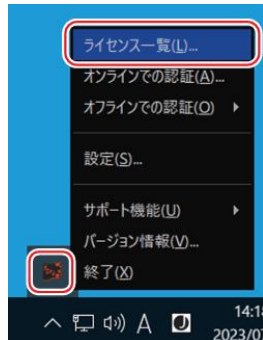
フォルダー名	認証するライセンス
HUB	Chorus Hub Server 11 FL
XRE	Chorus Hub 11 Render Option Broadcast FL
SYNC	Chorus Hub 11 Sync Option FL
EDIUS	EDIUS 11 Broadcast FL もしくは EDIUS 11 Workgroup FL
AUTHOR	EDIUS 11 Authoring Option FL
K2	EDIUS 11 K2 Option FL
S3	EDIUS 11 S3 Direct Access Option FL

NOTE このメディアは認証解除の際にも使用します。[ライセンスを認証解除する](#)ではこのメディアを使用するものとして説明します。

ライセンスを認証する

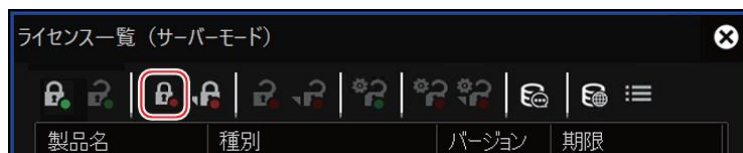
- NOTE**
- GV License Managerの操作はサーバーコンピュータで行う操作です。
 - 認証ファイルの生成にはインターネット接続可能なWindows PCが必要です。

1. タスクバーの通知領域にある GVLICENSEMANAGER アイコンを右クリックし、[ライセンス一覧] をクリックする



- NOTE** GVLICENSEMANAGER アイコンが表示されていない場合は、[スタート] > [Grass Valley] > [GVLICENSEMANAGER (ServerMode)] の順に選択します。

2. [オフラインでの認証] をクリックする



3. シリアルナンバーを入力し、[OK] をクリックする
4. 認証するライセンスに応じて、USB メモリのフォルダーを出力先として選択し、[フォルダーの選択] をクリックする
5. 確認メッセージが表示されるので、[OK] をクリックする
 - 手順#2～#5 を繰り返して、すべての必要な ID ファイルを USB メモリに保存します。

- NOTE** すべてのIDファイルを保存した後も、ライセンス一覧は開いたままにしておきます。

6. サーバーコンピュータから USB メモリを取り外し、インターネット接続されている Windows PC に接続する
7. エクスプローラーで USB メモリを開き、HUB > Activation フォルダの順に開き、GVActivation.exe をダブルクリックする
8. 確認メッセージの [はい] をクリックする
9. ID ファイル作成完了のメッセージが表示されたら [はい] をクリックする
 - 手順#7～#9 を繰り返して、すべての必要な ID ファイルを USB メモリに保存します。
10. Windows PC から USB メモリを取り外して、サーバーコンピュータに接続する
11. ライセンス一覧の [オフラインでの認証 認証ファイルの登録] をクリックする



12. USB メモリを開き、HUB > Activation フォルダの順に開き、Response.key を選択して [開く] をクリックする

13. 確認メッセージが表示されるので、[OK] をクリックする

- 手順#11～#13 を繰り返して、すべての必要な登録ファイルをライセンス一覧へ登録します。

14. システムの運用に必要なライセンスすべてが一覧に表示されていることを確認する

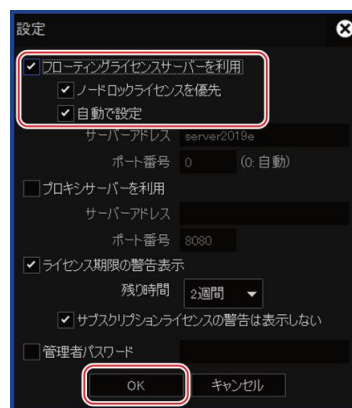
15. ライセンス一覧を閉じる



STEP 3: フローティングライセンスを使用するための設定

サーバーコンピュータの GV License Manager を操作してフローティングライセンスサーバーを使用するための設定を行います。

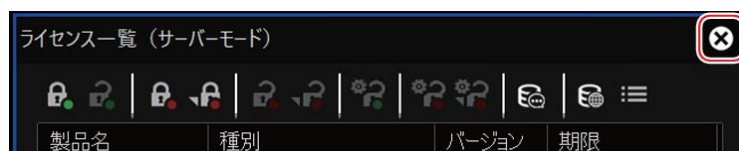
1. タスクバーの通知領域にある GV License Manager アイコンを右クリックし、[設定] をクリックする
2. [フローティングライセンスサーバーを利用] と [自動で設定] にチェックを入れ、[OK] をクリックする



NOTE

- EDIUSクライアントで認証しているライセンスを使用する場合は、「ノードロックライセンスを優先」にチェックをつけます。
- EDIUSクライアントのノードロックライセンスを使用する場合、サーバーコンピュータで認証した以下のライセンスとEDIUSクライアントのノードロックライセンスを比較し、エディション名が一致していることを確認してください。
 - Chorus Hub 11 Render Option {エディション} FL
エディション: BroadcastもしくはWorkgroup

3. ライセンス一覧を閉じて OS を再起動する



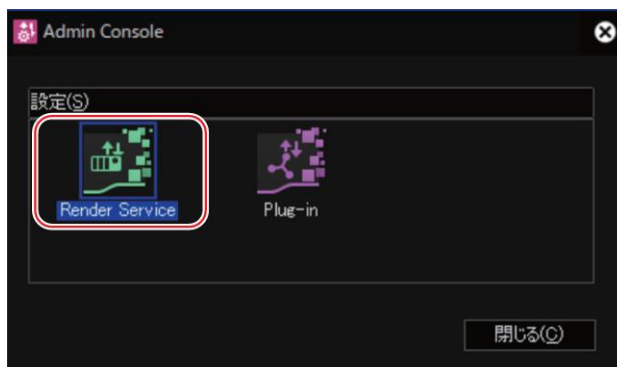
共有テンポラリープロジェクトフォルダーの登録

Chorus Hub システムでネットワーク編集システムを構築するには、Chorus Hub への共有テンポラリープロジェクトフォルダーの登録が必要です。このフォルダーの登録方法は以下の2通りあります。いずれかの手順で登録してください。

- Admin Console (GUI)を操作しての登録
- CLI(コマンド・ライン・インターフェイス)を使用しての登録

Admin Console による登録

1. サーバーコンピュータで [スタート] > [Grass Valley] > [AdminConsole] をクリックする
2. [RenderService] をダブルクリックする



3. [参照] をクリックし、共有テンポラリープロジェクトフォルダーを指定して [OK] をクリックする



4. [フォルダーの確認] をクリックする



NOTE [フォルダーの確認] をクリックしたときにエラーダイアログが表示された場合は、共有フォルダーのアクセス権限とネットワークパスを確認してください。

5. [OK] をクリックする

CLI による登録

1. メモ帳を開き、以下のテキストを貼り付ける

```
{
  "configurationType": "System",
  "classId": "com.grassvalley.eh.renderEngine.configs",
  "environment": "default",
  "keys": [
    {
      "key": "sharedTempFolderPath",
      "value": "\\\\"{NAS NAME or IP}\\\"{TEMP PROJECT FOLDER}"
    }
  ]
}
```

2. Value にプロジェクトフォルダーを記す

Ex. NAS NAME: EDIUSSHARED
フォルダー名: TempProject
"\\\\\\EDIUSSHARED\\TempProject"

3. C:\FOLDERREGIST フォルダーを作成し、そこに config.json ファイルとして保存する
4. eHub.exe token request と入力し、Enter キーを押す
5. eHub.exe config create --input-method file config.json と入力し、Enter キーを押す

```
C:\FOLDERREGIST>ehub.exe config create --input-method file
config.json
{
  "id": "2c6d389d6db553c870c4bcee24367b90",
  "rev": "3-blad8a350fc7a652524e6881cf699f1b6ed6da01",
  "created": "2022-02-14T07:38:20.8731408+00:00",
  "modified": "2022-02-14T07:38:20.8731408+00:00",
  "configurationType": "System",
  "classId": "com.grassvalley.eh.renderEngine.configs",
  "environment": "default",
  "keys": [
    {
      "key": "sharedTempFolderPath",
      "value": "\\\\"EDIUSSHARED\\TempProject"
    }
  ]
}
C:\FOLDERREGIST
```

6. eHub.exe config list と入力し、Enter キーを押す
 - 同じ情報が表示されていれば共有テンポラリープロジェクトフォルダーの登録は成功です。

```
C:\FOLDERREGIST>ehub.exe ehub.exe config list
[
  {
    "id": "2c6d389d6db553c870c4bcee24367b90",
    "rev": "1-b3afebef605364b61506bfdf769c34163d7891d5",
    "created": "2022-02-14T04:25:18.2471013+00:00",
    "modified": "2022-02-14T04:25:18.2471013+00:00",
    "configurationType": "System",
    "classId": "com.grassvalley.eh.renderEngine.configs",
    "environment": "default",
    "keys": [
      {
        "key": "sharedTempFolderPath",
        "value": "\\\\"EDIUSSHARED\\TempProject"
      }
    ]
  }
]
```

```
    ]  
  }  
]  
C:\FOLDERREGIST
```

7. コマンドプロンプトを終了する

EDIUS クライアントのセットアップ

STEP 1: EDIUS をインストールする

- NOTE**
1. Chorus Hub サーバー、EDIUS のビルド番号は同じものを使用してください。インストーラーは以下のリンクよりダウンロードできます。
 - [Chorus Hub サーバーインストーラー](#)
 - [EDIUS 11 インストーラー](#)
 2. 管理者権限を持つ OS アカウントでサインインしてください。
 3. EDIUS クライアントでサードパーティー製ハードウェアを使用する場合は、あらかじめサードパーティー製ソフトウェアのインストールをすませてください。
→ [サードパーティー製ビデオハードウェアのセットアップ](#) (EDIUSWorld.com)

1. EDIUS インストーラーをダブルクリックする
2. 画面の指示に従ってインストールする
3. 再起動を要求するメッセージが表示された場合はメッセージ内の [再起動] をクリックする
4. サードパーティー製プラグインを使用する場合は、プラグインのインストールを行う

STEP 2: フローティングライセンスを使用するための設定

GVLicenseManager でフローティングライセンスを使用する設定を行います。サーバーコンピュータで行う操作と同じ操作で設定します。

→ [フローティングライセンスを使用するための設定](#)

外部レンダーエンジンのセットアップ

STEP 1: ソフトウェアをインストールする

- NOTE**
1. インストーラーは Chorus Hub サーバーと同じものを使用します。EDIUS のビルド番号と同じものを使用してください。インストーラーは以下のリンクよりダウンロードできます。
 - [Chorus Hub サーバーインストーラー](#)
 - [EDIUS 11 インストーラー](#)
 2. 稼働時に使用する OS アカウントと同じアカウント(管理者権限を持つもの)でサインインしてください。

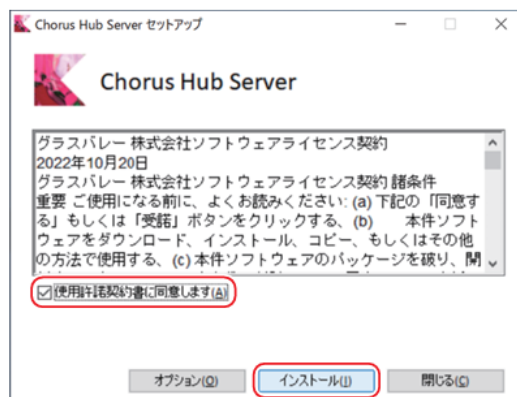
1. ChorusHubServer_Setup-11.xx.xxxx.exe を実行する
2. [オプション]をクリックする



3. 「Render Engine のみ」を選択し、[OK] をクリックする



4. [使用許諾契約書に同意します] にチェックを入れ、[インストール] をクリックする

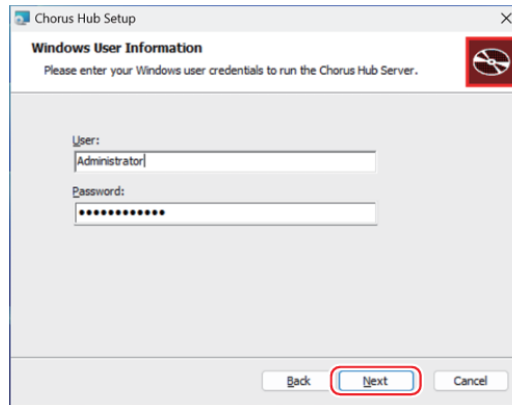


NOTE

- ウィンドウをスクロールして、必ずすべての条件に目を通してください。
- [閉じる] をクリックすると、インストールが中止されます。使用許諾契約に同意できない場合は、インストールを中止し、文書で当社カスタマーサポートにご連絡ください。

5. [次へ] をクリックする

6. User / Password をそれぞれ入力して [次へ] をクリックする



NOTE サインインしているOSのアカウントと同じユーザー名とパスワードを入力します。

7. [再起動] をクリックする



STEP 2: フローティングライセンスを使用するための設定

GVLicenseManager でフローティングライセンスを使用する設定を行います。サーバーコンピュータで行う操作と同じ操作で設定します。

→ [フローティングライセンスを使用するための設定](#)

STEP 3: Windows の自動ログオンをオンにする

GPUfx エフェクトが適用されたタイムラインをレンダリングするために、レンダリングエンジンは Windows ログオンを要求します。詳しくは、Windows Microsoft の記事で [Windows で自動ログオン機能を有効にする](#) を参照してください。

動作確認

確認する内容

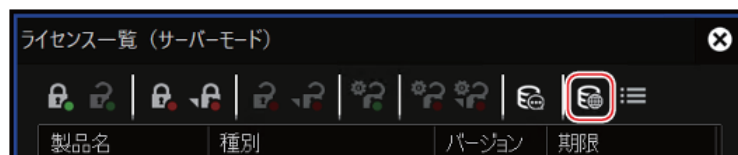
ソフトウェアのインストール、設定が完了したら以下の動作を確認します。

- サーバーコンソールの起動・終了
- サーバーコンソールで認証したライセンスが表示されることの確認
- ライセンスのチェックアウト・チェックイン
- 外部レンダリングができることの確認

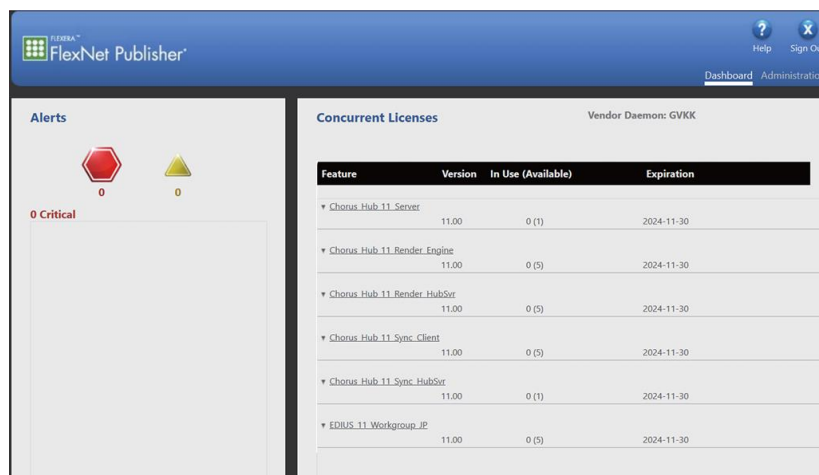
サーバーコンソールの起動方法

サーバーコンソールではフローティングライセンスの使用状況を把握やライセンスサーバーモジュールの使用状況の確認、管理を行うことができます。このコンソールはサーバーコンピュータで操作できます。

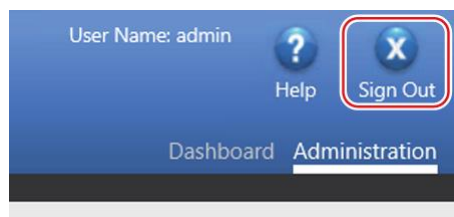
1. タスクバーの通知領域にある GVLICENSEMANAGER アイコンを右クリックし、[ライセンス一覧] をクリックする
2. [ライセンスサーバーをブラウザで開く] をクリックする



- Web ブラウザでサーバーコンソールが開きます



3. サーバーコンソールを終了する場合は、Sign Out をクリックする



ライセンスが使用可能かを確認する

サーバーコンソールに認証したライセンスが表示されているかどうかを確認します。

1. サーバーコンソールを開く
 2. Web ブラウザで認証したライセンスが表示されていることを確認する
 - 以下のライセンスが表示されていることを確認します。
 - Chorus Hub 11 Server
 - Chorus Hub 11 Render Engine*
 - Chorus Hub 11 Render HubSvr*
 - Chorus Hub 11 Sync Client
 - Chorus Hub 11 Sync HubSvr
 - EDIUS 11 Workgroup JP
- *外部レンダーエンジンを使用しない場合は表示されません。



3. Web ブラウザを開いたまま次項の「ライセンスのチェックアウトを確認する」へ進む

ライセンスのチェックアウト・チェックインを確認する

EDIUS の起動・終了に応じてライセンスのチェックアウト・チェックインが動作することを確認します。

1. すべてのクライアントで EDIUS が起動しているかどうかを確認し、起動している場合は終了する
2. Web ブラウザで開いているサーバーコンソールで、EDIUS 11(Broadcast もしくは Workgroup)の 'In Use' が 0 になっていることを確認する

Feature	Version	In Use (Available)	Expiration
▼ EDIUS 11 Workgroup JP	11.00	0 (5)	2024-11-30

3. 任意の 1 台のクライアントで EDIUS を起動する
4. EDIUS 11(Broadcast もしくは Workgroup)の 'In Use' が 1 になっていることを確認する

Feature	Version	In Use (Available)	Expiration
▼ EDIUS 11 Workgroup JP	11.00	1 (5)	2024-11-30

5. EDIUS を終了して 'In Use' が 0 になることを確認する
6. Web ブラウザを閉じる

NOTE チェックアウト・チェックインに応じて表示が更新されない場合は、Webブラウザの更新ボタンで画面を更新してみてください。

外部レンダリングができるかを確認する

EDIUS で編集したタイムラインを、外部レンダーエンジンを使用してファイルへエクスポートできることを確認します。

1. 共有ストレージにある素材を使用して、EDIUS でタイムラインを編集する
2. [F11] キーを押して 任意のビデオファイルエクスポーターを選択する
3. 「外部レンダリング」チェックをつける



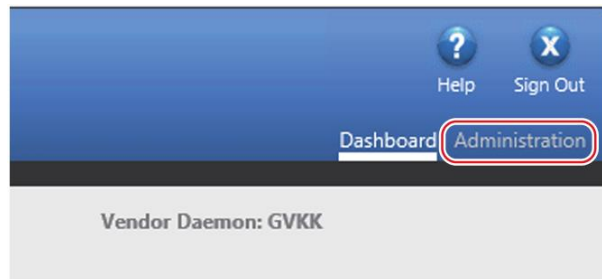
4. [出力] をクリックし、保存先を選択して [保存] または [OK] をクリックする
5. EDIUS クライアントの GV Job Monitor で、ファイル出力のジョブが表示、処理されることを確認する

ライセンスの管理

管理者パスワードを変更する

管理コンソールへのサインインパスワードを変更します。

1. サーバーコンソールを開く
2. [Administration] タブをクリックする



3. ユーザー名とパスワードを入力し、[Submit]をクリックする
 - User Name, Password 共に admin を入力します。

4. 現在のパスワード(admin)と新しいパスワード、再度新しいパスワードを入力して[Save]をクリックする

5. [OK] をクリックする

サービスの稼働状況を確認する

ライセンスのチェックアウト・チェックインができない、または EDIUS が起動できないなどの問題が発生する場合は、サーバーコンピュータで必要なサービスが稼働していることを確認します。

1. Ctrl + Shift + Esc キーを押してタスクマネージャーを起動する

2. サービスを選択する

3. [FlexNetLicensingService64] と [GVLicenseServer] のステータス(「状態」の表示内容)が実行中になっていることを確認する

NOTE

- ステータスが停止中になっている場合は、各サービスを右クリックして [開始] コンテキストメニューを選択して実行中になるかを確認します。
- いずれか、もしくは両方のサービスが表示されていない場合は、サーバーコンピューターを再起動してから手順#1からやり直してください。

4. タスクマネージャーを閉じる

ライセンスサーバーモジュールを再起動する

ライセンスの認証やサービスの稼働に問題がないにも関わらず、EDIUS が起動できないなどの問題が発生する場合は、以下の手順でライセンスサーバーモジュールの再起動をお試しください。

1. サーバーコンソールを開く
2. [Administration] をクリックして管理コンソールにサインインする
3. [VendorDaemonConfiguration] をクリックする
4. [Administer] をクリックする

Name ▲	Status	FlexNet Publisher Version	Port		
GVKK	Up	11.19	50543	Administer	Delete

5. [Stop] をクリックする

Vendor Daemon:GVKK

Vendor Daemon Port in Use: 50543

Vendor Daemon Actions

Stop Reread License Files

Report Log Name: Rotate Report Logs

- Status が Shutting Down に変わります。

Name ▲	Status	FlexNet Publisher Version	Port		
GVKK	Shutting Down	11.19		Administer	Delete

6. 数秒経過した後、手動で Web ブラウザの画面を更新する

- Status が Shutting Down に変わります。

Name ▲	Status	FlexNet Publisher Version	Port		
GVKK	Down	11.19		Administer	Delete

7. [Administer] をクリックする

8. [Start] をクリックする

Vendor Daemon:GVKK

Vendor Daemon Actions

Start

- Status が Starting Up に変わります。

Name ▲	Status	FlexNet Publisher Version	Port		
GVKK	Starting Up	0.0	-1	Administer	Delete

9. 数秒経過した後、手動で Web ブラウザの画面を更新する

- Status が Up に変わればライセンスサーバーモジュールの再起動は成功です。

Name ▲	Status	FlexNet Publisher Version	Port		
GVKK	Up	11.19	56930	Administer	Delete

10. サーバーコンソールからサインアウトする

11. Ctrl + Shift + Esc キーを押してタスクマネージャーを起動する

12. サービスを選択する

13. GVLICENSESERVER を右クリックし、[再起動] コンテキストメニューを選択する

14. GVLICENSESERVER のステータスが実行中になっていることを確認する

15. タスクマネージャーを閉じる

NOTE ライセンスサーバーモジュールを再起動しても問題が解決しない場合、もしくは再起動に失敗する場合は、サーバーコンピューターを再起動してみてください。

ライセンスを認証解除する

準備

認証解除を行う前に以下の手順を行います。

1. 任意の EDIUS クライアントで GV Job Monitor を開き、「この PC からのジョブ」チェックを外す
 - 待機中または進行中のジョブがあるかどうか確認します。ある場合はそれらが終了するまで待つか、処理をキャンセルします。

NOTE ジョブのキャンセルは、そのジョブを送信したEDIUSクライアントのみで行えます。

2. すべてのクライアントで EDIUS を終了する
3. サーバーコンソールを開く
4. EDIUS 11(Broadcast もしくは Workgroup)の 'In Use' が 0 になっていることを確認する

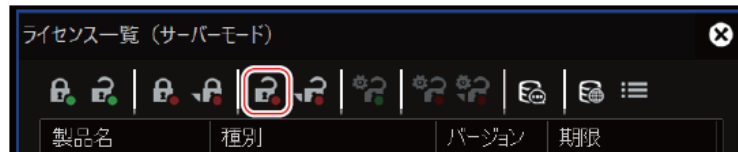
Feature	Version	In Use (Available)	Expiration
EDIUS 11 Workgroup JP	11.00	0 (5)	2024-11-30

5. Web ブラウザを終了する
6. オフライン認証メディアをサーバーコンピューターに接続して、必要なサブフォルダーが存在することを確認する
→ サブフォルダーの内容は[オフラインメディアを用意する](#)を参照してください。

ライセンスを認証解除する

認証解除を行う前に以下の手順を行います。

1. タスクバーの通知領域にある GVLICENSEMANAGER アイコンを右クリックし、[ライセンス一覧] をクリックする
2. ライセンス一覧で解除するライセンスを選択し、[オフラインでの認証の解除 ID ファイルの生成] をクリックする



3. 認証解除するライセンスに応じて、USB メモリのフォルダーを保存先として選択し、[フォルダーの選択] をクリックする
4. 確認メッセージが表示されるので、[OK] をクリックする
 - 手順#2～#4 を繰り返して、すべての必要な ID ファイルを USB メモリに保存します。
5. [X] をクリックしてライセンス一覧を閉じる
6. 認証解除用 ID ファイルを保存したすべてのフォルダーを zip 形式で圧縮し、当社テクニカルサポートに送信する
7. タスクバーの通知領域にある GVLICENSEMANAGER アイコンを右クリックし、[終了] をクリックする
8. Ctrl + Shift キーを押したまま、[スタート] > [Grass Valley] > [GVLICENSEMANAGER (ServerMode)] の順に選択する
 - タスクバーの通知領域に GVLICENSEMANAGER アイコンが表示されたらキーを離します。
9. ライセンス一覧で黄色文字表示されているライセンスを右クリックして [削除] コンテキストメニューを選択する
 - この手順を繰り返して、すべてのライセンスを一覧から削除します。
10. [X] をクリックしてライセンス一覧を閉じる
 - 手順#6～#8 を繰り返して、すべての必要な ID ファイルを USB メモリに保存します。
11. タスクバーの通知領域にある GVLICENSEMANAGER アイコンを右クリックし、[終了] をクリックする

-
- 12.** [スタート] > [Grass Valley] > [GVLICENSEMANAGER (ServerMode)] の順に選択して GV License Manager(Server Mode) を起動する

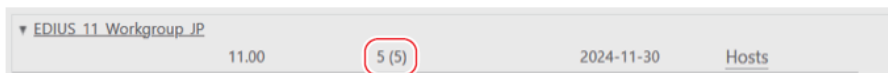
トラブルシューティング

ライセンス残数が不足して EDIUS が起動しない

EDIUS の起動時に「ネットワークの状態とサーバーの残ライセンス数を確認してください」と表示された場合は、以下のトラブルシューティングを実施してください。

ライセンスの残数を確認する

1. サーバーコンソールを開く
2. ライセンスコピーの「使用中」と「使用可能」数を確認する
→ 数量が同じ場合はライセンスの残数がありません。



3. ライセンスの残数がない場合は Hosts をクリックする
4. EDIUS を終了できるクライアントを特定して、そのクライアントで EDIUS を終了する

サービスの動作確認

サーバーコンピューター、EDIUS クライアントのそれぞれで FlexNet Licensing Service 64 と GVLICENSESERVER の両方が「実行中」になっていることを確認します。

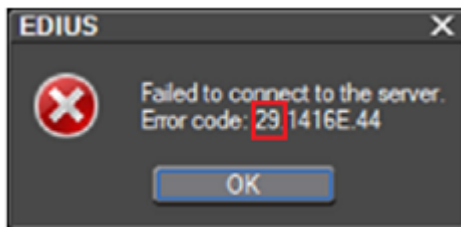
→ サービスの動作確認手順は [サービスの稼働状況を確認する](#) をお読みください。

EDIUS クライアントの認識を確認する

1. サーバーコンソールを開く
2. EDIUS 11(Broadcast もしくは Workgroup)の Hosts をクリックする
3. EDIUS を使用したいクライアントが表示されるかを確認する
4. クライアントが表示されない場合はサーバーコンピューター、EDIUS クライアントの両方を再起動する

ライセンスの認証/認証解除中にエラーが発生する

ライセンスの認証/認証解除中にエラーが発生した場合、エラーコードが表示されます。



必要なトラブルシューティングの手順は、表示されるエラーコードによって異なります。詳しくは、[ナレッジベース](#)をご覧ください。

編集作業中に一部の機能が使用できなくなる

EDIUS を使用する際は、フローティングライセンスサーバーへの接続を維持する必要があります。15 分以上接続を遮断した場合、EDIUS では以下の機能が無効となります。

- ファイルへの書出し
- テープへの書出し

- バッチエクスポート
- ディスクへの書き込み
- クイックタイターの使用

以下のトラブルシューティングをお試ください。

GV License Manager の設定を確認する

サーバーコンピューター、EDIUS クライアントそれぞれの GV License Manager でフローティングライセンスを使用する設定になっていることを確認します。

→ 設定の確認方法は[フローティングライセンスを使用するための設定](#)をお読みください。

診断を実施する

サーバーコンピューター、EDIUS クライアントそれぞれで診断ツールを実施し、診断結果をテクニカルサポートへお送りください。

1. 新規フォルダーを作成し、[診断ツール](#)をダウンロード、解凍する
2. 診断ツールを実施するコンピューターに合わせてサブフォルダーを開く
Server フォルダー: サーバーコンピューター
Client フォルダー: EDIUS クライアント
3. ChubDiag.bat を右クリックして [管理者として実行] コンテキストメニューを選択する
 - 診断が実施されます。診断結果のテキストファイルが保存されます。テキストファイルをテクニカルサポートへお送りください。

管理者パスワードを忘れた

管理者パスワードを忘れた場合は以下の手順で初期化します。

準備

1. 待機中または進行中のジョブがあるかどうか確認する
 - ジョブがある場合はそれらが終了するまで待つか、処理をキャンセルします。
2. すべてのクライアントで EDIUS を終了する
3. タスクマネージャーで以下のサービスが実行中になっていることを確認する
 - Flexnet Licensing Service 64
 - GVLICENSEServer
4. 管理者権限を持つアカウントで、サーバーコンピューターにサインインする

パスワードを初期化する

1. エクスプローラーで C:\Program Files\Grass Valley\Floating License Server\conf フォルダーを開く
2. server.xml をメモ帳で開く
3. <accesscontrol 文字列を検索し、以下の下線部分を変更する

```
<accessControl sessionTimeout="1800">
<user firstName="System" id="admin" lastName="Administrator" password="{ENCRYPTEDPASSWORD}"
passwordExpired="{false}" privileges="admin" type="local-admin"/>
```

変更前	変更後
{ENCRYPTEDPASSWORD}	admin
false	true

4. server.xml を上書き保存する

-
5. サーバーコンピューターを再起動する
 6. サーバーコンソールでパスワードを初期化する
→ パスワードの初期化手順は、[管理者パスワードを変更する](#) をお読みください。